

2026年7月8日

報道関係者各位

アイパークインスティテュート株式会社

## 湘南アイパーク、AI創薬を支えるセキュアなデータ処理基盤の性能を実証 ～創薬データを守りながら、最先端 AI の活用を可能にする研究環境整備へ～

- AI創薬に不可欠な高性能GPUを、安全に遠隔利用できる研究基盤の実証実験をNTTグループ<sup>1</sup>と実施
- 共用基盤を通じ、複数の企業・研究機関がデータを外部へ持ち出さずにAI解析を行えることを確認
- 湘南アイパークが目指す、AI創薬エコシステムおよび創薬連携拠点形成に向けた重要な一歩

アイパークインスティテュート株式会社（本社：神奈川県藤沢市、代表取締役社長：藤本利夫、以下「アイパークインスティテュート」）はNTT株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：島田明、以下「NTT」）、NTTドコモビジネス株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：小島克重、以下「ドコモビジネス」）と共同で、AI創薬やライフサイエンス研究において重要な「研究データの安全な活用」に向けた次世代計算環境の実証実験を行い<sup>1</sup>、その有効性を確認しました。

実証では、研究データを研究機関側に保持したまま、高性能GPUを安全に遠隔利用できる環境を構築。これにより、AI創薬に不可欠な大規模計算能力と、高度なデータ保護の両立が可能であることを実証しました。

<sup>1</sup>[GPU計算リモート提供の共同実証実験を開始時のプレスリリース](#)

### 1. 背景

近年、AI技術の進展により、創薬環境は大きな転換期を迎えています。新薬候補の探索、タンパク質解析、臨床データ解析など、多くの研究領域でAI活用が進み、創薬プロセス全体の効率化と高度化が加速しています。一方で、研究データは極めて機密性が高く、安全なデータ処理・計算環境の確保が急務となっています。今回の実証実験では、単一企業ではなく、国内外の製薬企業、スタートアップ、アカデミア、医療機関など多様な主体が集積する湘南アイパークにおける共用研究環境の実現可能性を検証しました。

### 2. 実証実験の概要

今回は、湘南アイパークと外部データセンターを高速ネットワークで接続し、研究データを湘南アイパーク側に保持したまま、高性能GPUによるAI学習・解析を実施できる環境を構築し、実証実験を行いました。

その結果、

- ・研究データを外部に保存することなくAI学習・解析が可能であること
- ・高度なセキュリティ対策を維持しながら、実用的な計算基盤を確保できること
- ・複数の企業や研究機関が利用可能な共用基盤として発展可能なこと

が実証され、機密性の高いデータを扱う企業・研究機関が、安全に先進的な計算資源を活用できる環境が実現できることを確認しました。

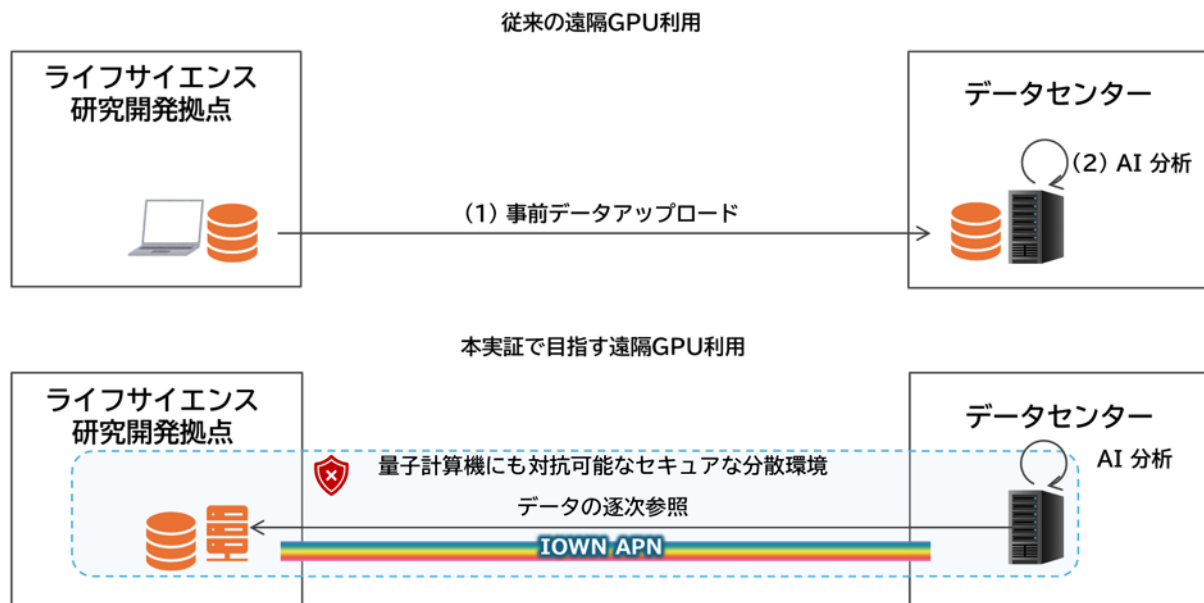


図1（NTT作成）：従来の遠隔GPU利用と本実証で目指す遠隔GPU利用

### 3. 実証実験を支えた先端技術

今回の実証実験は、NTTグループが研究開発を進める次世代通信・セキュリティ技術と、湘南アイパークが有するライフサイエンス研究環境を組み合わせることで実現しました。

具体的には、高速・大容量通信を実現するIOWN APN技術に加え、計算処理中のデータを保護するコンフィデンシャルコンピューティング技術や、将来の量子コンピュータ時代も見据えた耐量子暗号技術を活用し、研究データを安全に扱える遠隔GPU利用環境を構築しました。

アイパークインスティテュート代表取締役社長 藤本利夫は次のようにコメントしています。

「AI創薬技術の進展に伴い、研究現場ではこれまで以上に高度な計算資源と安全なデータ活用環境が求められています。今回の実証は、将来の研究環境を支える基盤技術の実現が可能であることを示しています。私たちは、AI創薬を単なる技術革新ではなく、創薬のパラダイムシフトと捉えています。湘南アイパークは、その基盤となる環境整備を進めることで、多様な企業や研究機関が連携しながら新たな価値を創出するエコシステムの確立に、これからも貢献していきます。」

### アイパークインスティテュート株式会社について

アイパークインスティテュート株式会社は、産業ファンド投資法人（IIF）、武田薬品工業株式会社、三菱商事株式会社を主要株主として、2023年4月に事業を開始しました。2018年より武田薬品が担っていた湘南ヘルスイノベーションパーク（神奈川県藤沢市、略称：湘南アイパーク）の運営事業を2023年に承継し、施設の運営・管理のほか、イノベーション創出促進、技術交流・研究連携促進など、ライフサイエンスエコシステムの構築・活性化のための事業を行っています。当社に関する詳しい説明は [こちら](#) をご覧ください。

## 湘南ヘルスイノベーションパーク（湘南アイパーク）について

湘南アイパークは、2018年4月に武田薬品工業株式会社が自社研究所を外部に開放して誕生した、日本初の製薬企業発サイエンスパークです。現在は武田薬品から独立したアイパークインスティテュート株式会社が運営を行っており、幅広い業種や規模の産官学が結集してヘルスイノベーションを加速する場となることを目指しています。現在、約220社の製薬企業、次世代医療、細胞農業、AI、行政などの企業・団体が集積し、約3500人（2026年7月現在）がライフサイエンスエコシステムを形成しています。

公式HP：<https://www.shonan-ipark.com>

湘南アイパーク最新の入居/メンバー企業・団体は[こちら](#)

公式SNS：[YouTube](#) / [Facebook](#) / [X \(旧 Twitter\)](#) / [LinkedIn](#)

### 本件に関するお問い合わせ先：

アイパークインスティテュート株式会社 コーポレートアフェアーズ [iPi.PR@shonan-ipark.com](mailto:iPi.PR@shonan-ipark.com)

担当：塚原